

⑥ 需要用途別年間有収水量（大分類）

(千m<sup>3</sup>)

事業主体名		生活用	業務営業用	工場用	その他	計
大	阪 市	253,816	103,063	10,621	956	368,456
大 阪	能 勢 町	710			109	819
	大阪広域水道企業団 (豊 能)	1,549	116		50	1,715
	池 田 市	9,411	1,464	250	18	11,143
	箕 面 市	11,771	2,184	135	67	14,157
	豊 中 市	35,735	5,691	654	94	42,174
	吹 田 市	32,450	7,273		97	39,820
	摂 津 市	8,311	354	645	16	9,326
	茨 木 市	24,241	4,040	251	109	28,641
	高 槻 市	30,972	3,309	510	15	34,806
	島 本 町	2,704	331		8	3,043
	小 計	<b>157,854</b>	<b>24,762</b>	<b>2,445</b>	<b>583</b>	<b>185,644</b>
大 阪	枚 方 市	34,127	6,493	1,050	76	41,746
	寝 屋 川 市	19,846	2,935	301	71	23,153
	守 口 市	12,891	2,173	265	6	15,335
	門 真 市	10,894	1,734	340	53	13,021
	交 野 市	6,133	1,016	174	45	7,368
	大阪広域水道企業団 (四 條 駅)	4,708	826	32	3	5,569
	大 東 市	10,822	1,915		11	12,748
	東 大 阪 市	41,881	8,199	2,693	82	52,855
	八 尾 市	29,098			122	29,220
	柏 原 市	6,132	840	788	64	7,824
	小 計	<b>176,532</b>	<b>26,131</b>	<b>5,643</b>	<b>533</b>	<b>208,839</b>
南 河 内	藤 井 寺 市	6,006	636	95	7	6,744
	松 原 市	10,358	1,002	371	15	11,746
	羽 曳 野 市	10,090	1,061	137	19	11,307
	富 田 林 市	9,873	1,507	33	261	11,674
	河 内 長 野 市	8,816	1,404	109	8	10,337
	大阪広域水道企業団 (太 子)	1,204	67		1	1,272
	河 南 町	1,351	233	44	9	1,637
	大阪広域水道企業団 (千 早 赤 阪)	454	84	1		539
	大 阪 狭 山 市	4,878	1,025	88	135	6,126
	小 計	<b>53,030</b>	<b>7,019</b>	<b>878</b>	<b>455</b>	<b>61,382</b>
泉 州	堺 市	68,619	18,025		2	86,646
	高 石 市	5,521	276	400	122	6,319
	泉 大 津 市	6,141	1,582		81	7,804
	大阪広域水道企業団 (忠 岡)	1,791	34	23	1	1,849
	和 泉 市	15,234	2,159	561	251	18,205
	岸 和 田 市	18,355	1,710	594	419	21,078
	貝 塚 市	7,975	247	1,058	72	9,352
	泉 佐 野 市	8,697	1,904	1,775	20	12,396
	熊 取 町	3,895	461	60	10	4,426
	大阪広域水道企業団 (田 尻)	688	274		44	1,006
	大阪広域水道企業団 (泉 南)	5,399	688	232	344	6,663
	大阪広域水道企業団 (阪 南)	4,740	707	57	5	5,509
	大阪広域水道企業団 (岬 岬)	1,410	224	7	88	1,729
	小 計	<b>148,465</b>	<b>28,291</b>	<b>4,767</b>	<b>1,459</b>	<b>182,982</b>
府 内 計 ( 大 阪 市 を 除 く )	<b>535,881</b>	<b>86,203</b>	<b>13,733</b>	<b>3,030</b>	<b>638,847</b>	
府 総 計	<b>789,697</b>	<b>189,266</b>	<b>24,354</b>	<b>3,986</b>	<b>1,007,303</b>	

※生活用は一般家庭用とする。

※業務営業用は官公署用、学校用、病院用、事務所用、営業用、公衆浴場用とする。

※料金体系が用途別以外の事業については推計により分類している。